

# 令和元年度 通学路対策箇所図

1914  
通学バスの停車時に一車線分占用してしまい、事故の危険がある。  
＜対策前＞



＜対策メニュー＞  
・民有地を利用した駐車場の確保の検討

1913  
児童登校の時間帯、抜け道として交通量が多く危険。  
＜対策前＞



＜対策メニュー＞  
・注意看板設置

1915  
公園の車止めが通学バスの幅寄せに支障となり、他の車と接触する危険がある。  
＜対策後＞



＜対策メニュー＞  
・公園車止めの交換

1944  
児童が登下校時に通る際、歩道が狭く交通量が多いため危険。  
＜対策前＞



＜対策メニュー＞  
・通学路変更の検討。

1926  
集合場所の歩道から児童が飛び出す恐れがあり、危険である。  
＜対策前＞



＜対策メニュー＞  
・安全指導の実施

1921  
アンダーパス内で不審者に遭遇した場合、危険である。  
＜対策前＞



＜対策メニュー＞  
・安全指導の実施

1954  
県道地下道の陰で、横断歩行者が見えにくく危険である。  
＜対策前＞

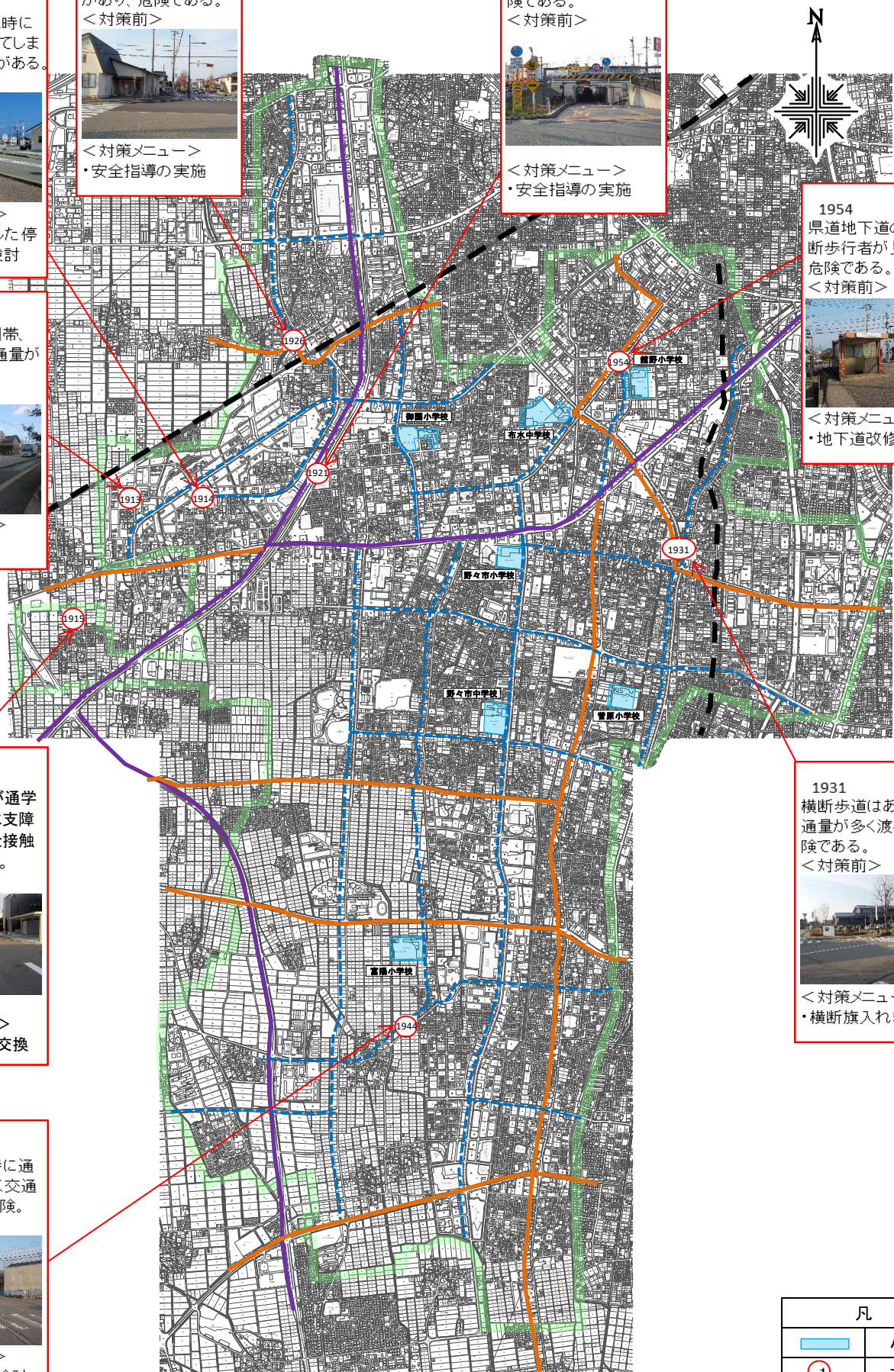


＜対策メニュー＞  
・地下道改修

1931  
横断歩道はあるが、交通量が多く渡るのが危険である。  
＜対策前＞



＜対策メニュー＞  
・横断旗入れ箱の設置



凡 例	
	小中学校
	対策箇所
	一般国道
	県道
	その他市道(幹線)
	鉄道